

newdea™

Newdea, Inc.
プロジェクトセンター・リリースノート
2016年4月



目 次

1	概要	4
2	プログラム管理	5
	(ア) 一般	5
	(イ) タスク	7
	(ウ) カスタムフォームの変更	7
3	評価&モニタリング/インジケータ	7
4	記録	9
5	レポート	10
	(ア) 標準的なインパクトレポート	10
	(イ) カスタムインパクトレポート	11
	(ウ) データウェアハウス (カスタムレポート)	11
6	CSR (企業の社会的責任)	12


1 概要

私たち newdea は絶えずお客様の声に耳を傾けています。変更に関するご意見はすべて、フィードバックリンクを介してか、組織におけるキーパーソン介してかなどを把握しています。今回のリリース 7.2.0.0 は、お客様からの要望をもとに機能強化をおこないました。私たちはこれからもこのソフトウェアをより良いものへと改善していくために、機能の強化や業務効率に役立つフィードバックを常時お待ちしております。

プロジェクトセンター新リリースには以下の機能が加わりました:

プロジェクト管理	<p><u>一般</u></p> <ul style="list-style-type: none"> リッチテキスト (テキストフォーマット) おける書式貼り付けブラシの追加 マネージャー、スタッフダッシュボードの変更 グループ詳細と予算の記録のデータサイズの増量 <p><u>タスク</u></p> <ul style="list-style-type: none"> スキップしたタスクの再アクティブ化 成果に関する特定のタスク、未完了のタスク、活動報告の作成 <p><u>カスタムフォームの変更</u></p> <ul style="list-style-type: none"> インポートできるデータ行数の増加
評価&モニタリング / インジケータ	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト/グループレベルでインジケータテンプレートの説明文を上書きするオプションを提供 インジケータの責任者の割り当て リンクされたインジケータを絞り込むチェックボックスと「はい/いいえ」チェックボックスの追加
記録	<ul style="list-style-type: none"> 新規のプロジェクトアップデート説明文
レポート	<p><u>標準的なインパクトレポート</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 編集可能な Word ファイル出力への改良 <p><u>カスタムインパクトレポート</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 編集可能な Word ファイル出力の改良 プロジェクトの開始日/終了日を印刷する新規オプション プロジェクト更新日の説明文を印刷する新規オプション <p><u>データウェアハウス (カスタムレポート)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 構成項目のシーケンス機能の追加 Word ファイルへの出力オプションの追加
CSR	<ul style="list-style-type: none"> CSR(企業の社会的責任)レポートと印刷の新規追加

Note:

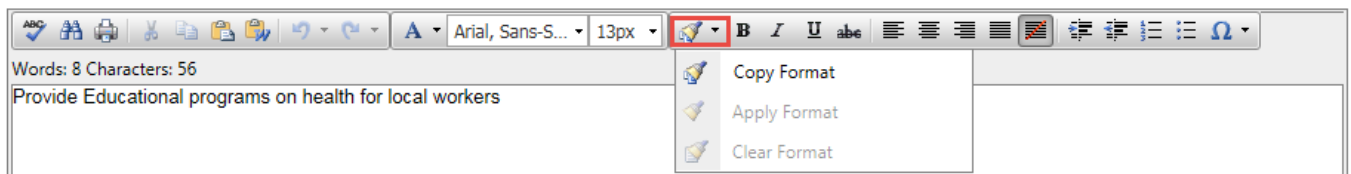
- このリリースに含まれるすべての拡張機能の詳細なリストや、ネット上の技術的な変更の内容については、プロジェクトセンター内にあるカスタマサポート/リソースライブラリを参照してください。
- いくつかの拡張機能には、新しい機能の詳細を紹介するビデオクリップがあります。ビデオクリップを見るにはビデオアイコン  をクリックしてください。(ビデオファイルは現在のリリースと、直前のリリースで見ることができます：※日本語バージョンはありません)

2 プログラム管理

(ア) 一般

リッチテキストにおける書式貼り付けブラシの追加

テキストフィールドに書式の情報のコピーしたり貼り付けたりするときに、書式貼付が使用できるようになり、テキスト書式の統一化が簡単にできるようになりました。Word 文書の貼付機能に似ていますが、プロジェクトセンターでは異なる働きをします。



テキスト書式

- コピーしたい書式の上にカーソルを置きます
- ペイントブラシの下矢印をクリックしプロダウンを表示させます
- 書式のコピーをクリックします
- 書式をコピーしたいテキストをハイライトします
- クリックして書式の貼り付けを許可します

または

- 書式を消去します (ドロップダウンの矢印をクリックし書式の消去を選択します)
- 適用と消去は無効と表示されます
- コピーしたい書式の上にカーソルを置きます
- ペイントブラシをクリックします (この作業では書式のコピーをしています)
- 書式をコピーしたいテキストをハイライトします
- ペイントブラシを再度クリックします (この作業では書式の適用をしています)
- (適用される書式が) 反映されるまで、テキストのハイライトを続け、ペイントブラシをクリックしてください。

テキストボックスのテキストだけが、ペイントブラシによる書式設定をすることができます。書式設定は、他のフィールド全体に適用することはできません。

主なメリット:

- テキストフィールドにおけるテキスト書式の統一が素早く簡単にできるようになります。

マネージャーダッシュボード/スタッフダッシュボードの変更

マネージャーダッシュボードでは以下を変更しました。

- a. 個人検索ボックスがなくなり、予算概要が右側に移動しました。
- b. “主な確認項目”は2つのセクションに分割しました: “要注目の項目”と“主な確認項目”
 - a. 要注目の項目は、アラートが出て承認が必要な期日超過のタスクや測定結果が表示されます。割り当てられた支出があれば、このセクションに表示されます。
 - b. “主な確認項目”は、プロジェクト、サブプロジェクト、ロジックモデルの数のように組織に関するものや、インジケータの数や最新の活動報告の数（最新30日以内）として、統計情報で表示されます。
- c. 以前公開されていた円グラフは削除しました。
- d. インジケータがユーザに割り当てられた場合には、新たなタブとして”私のインジケータ”が表示されます(以下#7を参照)。このタブは“私のタスク”の隣に表示されます。

スタッフダッシュボードでは以下の変更があります。:

- a. インジケータがユーザに割り当てられた場合には、新たなタブとして”私のインジケータ”が表示されます(以下「[インジケータの責任者の割り当て](#)」を参照)。このタブは“私のプロジェクト”と“私のグループ”の隣に表示されます。
- b. “私のプロジェクト/私のグループ”のリンク名を、“プロジェクト/グループのリスト追加”へ変更しました。

主なメリット:

- 使用頻度の低いリンクと項目を削除しました。
- ダッシュボードの掲載情報を追加しました。
- インジケータの更新プロセスを合理化しました。

グループ詳細と予算の記録サイズ増量

2つの項目にて、より多くの説明文が掲載できるようサイズを増量しました。

- グループ説明文のサイズを1,000文字から4,000文字に増加しました。
- 予算ノートのサイズを200文字から1,500文字に増加しました。

データウェアハウス(カスタムレポート)、ウェブサービス、データエクスポートはサイズ増量に対応できるよう更新されました。

主なメリット

- 以前より多くの説明文テキストが入力できるようになりました。

(イ) タスク

スキップしたタスクの再アクティブ化

タスクが一度スキップされると、再度アクティブにすることができず新たなタスクを作らなくてはならないことが、プロジェクトマネージャーにとって余分な作業となっていました。現在は、プロジェクトマネージャーがスキップされたタスクのステータス設定を“割り当てる”に戻すことで、再アクティブ化することができ、期日も再調整できます。タスクの再アクティブ化をするには、ユーザは“タスクを割り当てる”権限を持たなければなりません。

主なメリット:

- スキップしたタスク管理の作業が軽減されました。

(ウ) カスタムフォームの変更

インポートできるデータ行数の増量

エクセルからインポートできるデータ行数が、メインフォームへは 1000 行に、各サブフォーム（カスタムグリッド）へも 1000 行に増加しました。以前は 100 行までの制限がありました。

主なメリット:

- カスタムフォームへのデータインポートの効率が向上しました。

3 評価&モニタリング/インジケータ

インジケータのテンプレートの説明文を上書きするオプションを提供

インジケータのテンプレートは、組織内でインジケータを一般化したり積み上げ集計をしたりするのに利用します。インジケータをプロジェクト/グループに設定したら、インジケータの説明文を目的や目標に関連づけることができます。以前はこの項目は無効だったため、テンプレート内の文言を変更することができませんでした。本リリースにおいては、インジケータテンプレートの定義にて新たな選択ができ、説明文の上書きを可能とする設定ができるようになりました。例えば、受益者数の測定というインジケータテンプレートに“受益者のリーチアウト”という説明文があります。そのインジケータをプロジェクトに割り当てたときには、説明文を“領域内で 1000 人の受益者にリーチアウトする”に変えることができます。

インジケータが高階層で積み上げ集計された場合には、テンプレートの文言が使用されます。積み上げの中から特定のプロジェクトやグループを表示させた時には、上書きされた説明文が表示されます。

この拡張機能は、インジケータグループやロジックモデルのインジケータに適用されます。

主なメリット:

- インジケータの説明文を特定の項目に対して上書きできるよう柔軟性をもたせました。
- 積み上げ集計から特定のプロジェクトやグループのインジケータ項目について、可視化と文言記録ができるようになりました。



メモ インジケータにいつでも“説明文の上書きを許可する”を設定することができます。一旦インジケータグループやロジックモデル上でインジケータの説明文を上書きすると、オプション設定の変更はできません。

**必要な作業**

システム Ver.7.2.0.0 がアップデートされたあとは、全てのインジケータテンプレートが上書きを“許可しない”に設定されています。全てのインジケータを確認し、“上書きを許可する”に設定するかを判断してください。

インジケータの責任者の割り当て

プロジェクト管理をしやすくし人事業務をスリム化するために、ユーザや連絡先をインジケータに割り当てることができます。割り当ては、ロジックモデルの構成項目ページやインジケータグループのインジケータの編集ページにてできます。ひとつのインジケータにはひとりしか割り当てできません。

一度インジケータに割り当てられると、新たに“私のインジケータ”タブがユーザのダッシュボードに表示され、担当しているインジケータが一覧表示され、ここから実測値の更新へと素早くアクセスできます。このタブは運用ダッシュボードの上（“私のタスク”の横）と、スタッフダッシュボード（私のプロジェクト/グループ）に表示され、インジケータへの直接アクセスができます。ユーザは各プロジェクトへ行きロジックモデルの中から必要なインジケータを探す必要はなくなります。

タブ内において、ユーザはインジケータアラートのステータスと最終更新日の日付を確認できます。期日内の入力が遅れる場合には、日付の隣にアラートアイコンが表示されます。アラートの詳細を確認するには、[表示]リンクをクリックしてください。

Indicator	Project/Group	Frequency	Tolerance Alert	Last Entry
Total Number of Program Related Community Visits	Malaria Eradication in Children (ABC)	Quarterly	⚠️ (view)	Mar 2016
Unique Community Visits	Malaria Eradication in Children (ABC)	Monthly	⚠️ (view)	Jan 2016 ⚠️
Family & Community benefitting	Burkina Faso Literacy	Quarterly		Dec 2015

オフラインでインジケータの更新をするために、特定の担当者を絞り込んでからインジケータテンプレートのエクセルへのダウンロードをすると、入力しやすいスプレッドシートが入手できます。

主なメリット:

- ユーザによるインジケータの実測値の更新が簡単にできるようになりました。
- インジケータのステータスの可視化され、モニターできるようになりました。
- プロジェクト管理と更新について全体が改善されました。



メモ ユーザがインジケータに割り当てられたときのみ、“私のインジケータ”タブがダッシュボードに表示されます。

リンクされたインジケータを絞り込むチェックボックスと“はいいいえ”の追加

リンクされたインジケータにおいて、単一選択項目、複数選択項目、活動地による絞り込みができます。チェックボックスと“はいいいえ”の2つの項目種別が追加されました。

主なメリット:

- 組織に必要な様々なインジケータをサポートするリンクされたインジケータの絞り込みがしやすくなりました。

4 記録

プロジェクトアップデートの説明文の新規追加

プロジェクトのレポート機能向上として、プロジェクトのアップデートについて設定できる説明文が新規に利用できるようになりました。10ユーザまで、定義された説明文を“有効”にすることができます。一旦これらの説明文が有効になると、メディアセクションに「プロジェクトの更新」リンクがあらわれ、リンクを介してアップデートが入力できます。

Media**News**[Accomplishments](#)[What Still Needs to be Done](#)**Project Reporting**[Project Updates](#)**Impact Report**[Preview](#)**Multimedia**[Images \(13\)](#) [Stories \(10\)](#)[Documents \(5\)](#)

各説明文は、プロジェクトの始終、更新履歴を示す日付における複数エントリを補足しています。これらの項目のレポート作成は、“レポート/インパクトレポート”タブのカスタムインパクトレポートを通じておこないます。

主なメリット:

- 追加された説明文によってプロジェクトのレポート作成が改良されました。

- プロジェクトのアップデートの更新履歴が記録されるようになりました。
- 組織の作業手順に合うよう、説明文の名前を柔軟に定義できるようになりました。



メモ 管理設定で少なくとも1つ以上のプロジェクトアップデートが有効化された場合のみ、記録セクションにプロジェクトアップデートのリンクが表示されます。説明文を設定すると、リンクは管理設定で定義された順序で表示され、並べ替えることはできません。

5 レポート

(ア) 標準的なインパクトレポート

Word 出力の改良

Word 形式のインパクトレポートは、文章の編集作業を必要とするときに使用します。以前は、フォーマットが崩れて編集が難しい状態の Word 文章が利用されていました。手法を変更し、現在は文章の編集が簡単で、特に画像やグラフが単体で移動可能になり、ヘッダーとフッターは正しい状態で作成されるようになりました。

主なメリット:

- Word 形式ファイルの編集が大幅に改善されました。
- 外国語（英語以外）の Word 出力が改善されました。
- Word へ画像や図表を出力する際のパフォーマンスが改善されました。



メモ ワード出力は、PDF 版とまったく同じものではありません。これらには違いがあり、例えば、カスタムインパクトレポートの Word 出力では、テンプレートで定義できる“改ページ”を認識しません。

インパクトレポートの PDF バージョンは変更（編集）できません。

Word 出力した他のレポート（ロジックモデルの印刷やワークシートの表示）は今後のリリースで改良する予定です。

カスタムインパクトレポートの Word バージョン編集のヒント:

1. いくつかのケースでは、テキストブロック内にて、改行しようとして Ctrl キーを押しても機能しないことがあります。そこでの簡単な方法としては、空の一行を入れることをお勧めします。
2. インジケータを移動/コピーするときには、インジケータボックスを表す図左上隅をクリックしてください。
3. インジケータの図をコピーするには、図をクリックしてください。

4. いくつかのケースでは、Word ファイルの最後に白紙ページが表れます。削除するには、Word 文書の表示を Web ビューに変更してください。そして右端にスクロールします。上部にある表を削除し、メイン文書の右端にいきます。一番下までスクロールして、右端までスクロールします。下部にある表を削除し、メイン文書の右端にいきます。これらの表は、最初はメイン文書のヘッダーとフッターの生成に使用されています。表を削除しても、メイン文書内のヘッダー/フッターは削除されません。(文書を生成する最初のみ利用されません)

(イ) カスタムインパクトレポート

プロジェクトの開始日/終了日を印刷するオプションの追加

プロジェクトの開始日と終了日を印刷する新たな選択肢がインパクトレポートに追加されました。月日は表紙の、カテゴリの下部に印刷されます。

プロジェクト更新日の説明文を印刷するオプションの追加

新しいプロジェクトアップデートの強化に基づき(前述参照)、プロジェクトアップデートの説明文をカスタムインパクトレポートによって印刷することができます(アドホックかテンプレートで)。管理設定で定義することで、プロジェクトアップデートはインパクトレポートの同セクション内で印刷できます。どちらの説明文を印刷するかをカスタムインパクトレポート内で定義できます。プロジェクトアップデートセクション全体が同様のレポート内で上や下に移動することができます。

主なメリット:

- プロジェクトレポート作成の柔軟性が高まりました。

(ウ) データウェアハウス (カスタムレポート)

構成要素シーケンスの追加

活動レポートや構成要素レポートを作成するとき、構成要素のシーケンスを利用することで、サブの活動を含めて、ロジックモデルのような形で、レポート印刷することができます。

主なメリット:

- ロジックモデルのワークシートのような見え方にするために、シーケンスによって構成要素の配列を決定できるようにすることで、ロジックモデルのレポート機能が改善されました。

6 CSR（企業の社会的責任）

新しい CSR 機能と印刷

営利か非営利に関わらず、多数の組織では、いかに彼らが社会福祉や環境への責任を果たしているかを示すために、ビジネスプロセスにおいて CSR への取り組みが組み込まれています。

プロジェクトセンターは、CSR プロジェクトを管理するに適しています。計画を立てたり、結果を測定したりするのに、ロジックモデルを利用します。組織における CSR の見通しを立てるために、新たに CSR 項目とレポート機能が利用できるようになりました。

CSR 機能は組織設定の管理画面で有効化できます。CSR を有効化すると、具体的な CSR の説明文を作成することができ（説明文は最大 10 個まで）、組織で使用している用語を定義して使うことができます（例えば CSR, ESG, SD など）。一度作成すると、CSR 情報は組織レベルで入力、管理ができます（組織ツリー図の最上位レベル）。年単位の CSR 投資計画、政策の概要、CSR 委員会のメンバーと任意の設定文などに利用できます。

CSR の取り組みはプロジェクトとして管理ができますが、プロジェクトの報告プロセスをサポートするには、特定の CSR グループの下にてこれらのプロジェクトを管理することをお勧めします。プロジェクトセンターの多くの機能が、CSR 活動にも利用できます。

- 進捗状況と活動の影響を表示するためのインジケータは、インジケータグループとロジックモデルのいずれかで測定できます。
- 予算は、投資計画全体が活動を通じてどのくらい広がったのかを管理することができます。
- 支出実績では、支出合計が追跡でき、定期的に予算との比較ができます。
- 活動報告や画像にて活動におけるストーリーを綴ることで、ステークホルダーの関係づくりに役立ちます。

2つの予算の追加変更を記します。

- 予算種別の設定(管理設定)は現在、直接費・間接費・管理費のカテゴリについて、各予算カテゴリのタグづけがされています。それにより予算支出はこれらの3グループで報告されます。
- CSR 活動が外部パートナーを通じておこなわれている場合、予算へのパートナーの関連づけ(外部連絡先)ができます。



Note 直接費・間接費・管理費の分類と予算へのパートナーの関連づけは、CSR 機能の有効化に関係なく利用可能です。

レポートにおける新規の CSR タブにて 2つの新たなレポートが利用できます。

- 第 1 は CSR レポートで、組織レベルでの CSR 情報を印刷するオプションがあり、それに付随して CSR プロジェクトのリストや予算、収支情報があります。支出情報は直接費、間接費、管理費に分割されます。

- 第2は、委託先やパートナーによるプロジェクト支出レポートです。

主なメリット:

- 内部や外部のパートナーを通じて実施している CSR 活動の管理ができます。
- CSR 活動の結果と支出を測定できます。
- 組織レベルでの CSR 活動のレポートができます。



必要な作業

この機能を利用するには、管理設定にて有効化してください。この機能が有効でない場合、CSR 項目やレポートは表示されません。

Newdea では皆様方からの新機能の要望や提案をお待ちしています！
ぜひお気軽にご意見をメールで cliserve@newdea.com までお寄せください。

以上